

出張講座レポート③

NECキャピタルソリューション 株式会社



■講座内容

- ①障害者雇用の現状と考え方
- ②障害種別の特性に合わせた指導・配慮ポイント
- ③障害者雇用の社内理解の進め方
- ④合理的配慮と適切な指導・コミュニケーションとは
- ⑤職場定着に向けたサポート体制の構築

■テキスト



事業概要	ICT等各種機器・設備のリース・ファイナンス業
従業員数	639名 (2025年3月末現在)
実施部署	人事総務部
部署障害者数	8名 (知的障害者4名、精神障害者4名)

開催日	令和7年12月17日	受講 人数	対面 15名 オンライン 20名
-----	------------	----------	---------------------

きっかけ

感想

これから

当社は障がいの有無によらず活躍できる会社を目指し、環境の整備と採用に積極的に取り組んでいますが、現場では、障がいがある社員の特性理解が十分とはいせず、受入部門側の協働マインドにも課題があるため講座に申し込みました。

障がい者の特性や職場での支援について理解が深まりました。障がい特性の違いはあっても人対人のコミュニケーションなので、お互いに気遣い合うことが大事だと感じました（人事総務部 社員）。障がいがある社員と仕事をすることがありますが、これまでには徒手空拳で対応していました。今後も理解啓発の機会があると良いと思いました（営業サポート部門 社員）。

障がいがある社員にも、困難さの程度や性格に多様性があるので、適切なコミュニケーションで対応していきます（コーポレートスタッフ部門 社員）。法定雇用率が徐々に上昇しているのを初めて知り、自部門のこととして捉える必要性を強く感じています（コーポレートスタッフ部門 社員）。